

よい会社をつくろう。よい経営者になろう。よい経営環境をつくろう。

月刊

周友

DOYU 2012 January 1 Vol.546
MONTHLY COMMUNICATION MAGAZINE



靴の調整道具など

新春
対談

新しい年への期待をこめて・・・

「会員増強」を意気高く

21世紀型 **自立型企业づくり**
企画から参加できたら楽しい

有限会社 みなと工芸社

代表取締役

まつだ
松田

せいき
青起氏

大牟田支部



同友会
3つの目的

よい会社をつくろう

同友会は、ひろく会員の経験と知識を交流して企業の自主的近代化と強靱な経営体質をつくることをめざします。

よい経営者になろう

同友会は、中小企業家が自主的な努力によって、相互に資質を高め、知識を吸収し、これからの経営者に要求される総合的な能力を身につけることをめざします。

よい経営環境をつくろう

同友会は、他の中小企業団体とも提携して、中小企業をとりまく社会・経済・政治的な環境を改善し、中小企業の経営を守り安定させ、日本経済の自主的・平和的な繁栄をめざします。

今月の表紙

売上向上のための色彩指導とカラーコーディネーター養成、足と靴の悩みを持つ女性専用「足と靴専門店」をなさっている中村さん、最初、色彩を専門としたコンサルタントとして独立しましたが、コネもなくお金もない状態で、ひたすら歩き回られて営業をしていたそうです。そうしたら、足が真っ先に悲鳴を上げて、靴屋さんを回ることに。結局、足にあった靴がなく、お店の接客にも納得がいなくて、ご自分で、理想の靴屋を作ること



に。
お一人おひとりの足にあった靴をカウンセリングしながら提供なさっておられるので当然、道具にもこだわりがあり、このほかにも足の形を測る機械など細やかな対応が出来る体制になっています。

「私の逸品」
靴の調整道具など

株式会社 メリーグラス
代表取締役 中村 美賀子氏
(福友支部)



「あなたの写真で表紙を飾りませんか！」

表紙の写真をご募いたします。テーマは「私の逸品」です。詳細は、福岡県中小企業家同友会 広報情報室「月刊同友」編集部まで

締め切り…平成24年3月号は平成24年2月1日必着

投稿方法…電子メール、郵送いずれも可

表題に「みんなの広場」とご記載ください。

郵 送 先…福岡県中小企業家同友会 広報情報室「月刊同友」編集部

〒812-0046 福岡市博多区吉塚本町9番15号

もしくは n_ooba@fukuoka.doyu.jp まで

※応募が多数の場合は編集委員会で選考いたします。なお、投稿いただいた作品は返却いたしませんので、ご了承ください。

c o n t e n t s

特集

〈新春対談〉

「会員増強」を意気高く…………… 3

岩手同友会復興支援増強活動から学んだこと
理念を追求し、理念を以て、仲間を増やす… 521世紀型 自立型企業づくり…………… 6
企画から参加できたら楽しい
～付加価値を高めるために～
有限会社 みなと工芸社

2011年度広報・情報化交流会…………… 9

経営環境変化に関する緊急アンケート…………… 10

1月行事ご案内…………… 12

新商品ご紹介…………… 15

第8回理事会報告…………… 16

Information

福岡県がんばろう中小企業プロジェクト出発式

12月17日「福岡県がんばろう中小企業プロジェクト出発式」が行われました。贈られる自転車は、岩手県内の企業の通勤用に使っていただきます。

また、復興に向けて力強く立ち上がろうとしている福島で第42回中小企業問題全国研究集会を開催します。

ぜひご参加を!

■テーマ「震災1年、強い絆のもと、
われら断じて 滅びず！」

～中小企業の力で地域振興と日本経済再生を～

■日時／2012年3月8日(木) 13:00～9日(金) 12:00

■会場／ホテルハマツ



談 対 春 新

新しい年への期待をこめて…

「会員増強」を意気高く

会員増強戦略本部長 代表理事 田浦 通 氏

県・顧問（元代表理事） 諸岡 昭三郎 氏

福岡同友会は、1963年3月の創立以来、幾たびかの風雪を耐え抜き、一貫した経営理念をかかげ、中小企業をめぐる多様な要望をくみあげ、その利益を守り、経営の発展にたゆみない努力を続け、2013年3月25日に創立50周年を迎えます。

いま、福岡同友会は50周年の節目を機に「地域とともに」のスローガンをかかげ3,000名会員の輪を拡げようと、その取りくみを強化しています。新しい年への期待を込めて、推進の意義と達成への決意を語りあいました。

（記録・貞池広報委員長）

〈諸岡〉連日、ごくろうさまです。

日本列島を震撼させた3・11の東北大震災のなかでも福島・宮城・岩手の同友会の会員さんは、「雇用を守り、一社も潰さない」と力強く宣言し復興に取り組み、その「がんばり」には頭が下がりました。

全国の同友会運動の発展のあゆみは、経済環境の厳しいなかでも着実に増強に向っています。が、残念ながら、福岡では、厳しい現実が続いています。

まずそのあたりからお聞かせ下さい。

〈田浦〉先般、中間のまとめをしたところ、期首から73名を減らしています。



田浦 通さん

そのような状況のなかで、月刊「同友」7月号に、増強本部の方針を書かせていただきました。

そこには、役員が増強の意義を熱く伝えていこうと、話し合っています。

■会員と心を一つにしてやりぬこうと訴えよう。

■全支部が「完全達成」を合言葉に会勢復活の分岐点にしよう。

■後半期に勢いをつけるため、9月に70%を達成する前半主義でいくことを訴えかけてきました。が、今のところ成果が出ていません。

組織機構改革により、これまで支部の予算に組み入れられていた「入会申し込み金」が、今期より無くなりました。

そこで、動機づけという点で、これまで以上に増強の意義と目的を理解していただく必要があると考えました。

新年度がスタートして間もな

い6月8日に会員増強担当者を対象に研修を行ったところ、72名もの参加者を得て、増強の意義を確認しました。

各支部から出された今年度の目標227名を前半9月までに70%達成しておきたかったところでしたが、未達成で反省しています。

〈諸岡〉今年度から新しくスタートした「すばる特別委員会」は、組織強化と「退会防止」という点で一定の評価はできるので、と思います。

具体的な活動はいまからです。



諸岡 昭三郎さん

〈田浦〉ベテラン会員が活躍できる場をつくろうと白石静馬さんが委員長になって取り組んでいます。

実は会歴20年以上になるベテ

ラン会員さんの退会が増えていたからです。

その「退会防止」ということでもあります。ベテラン会員には「事業継続問題・相続問題・健康など」に関する事柄を、ベテラン会員ならではの課題を抱えています。

9月14日に第一回目を開催し、諸岡さんに報告していただき、100名以上の会員さんが、懐かしい話題で集まりましたのはよかったですね。

また、11月に開催した「博多の文化をまなぶ」企画には三光園に50名の会員が集まりましたが、今後ともベテラン会員さんには、相談役や顧問のかたちで若い人たちを補佐するような役割をしていただくよう支部にも提案をしています。

いまひとつの課題は、理事会における県の方針が支部長に伝えられていない点です。

「増強」は支部が中心であり、活動の主体者です。

また、常設委員会もこれまで理事会で確認してきたように「委員会活動」の対象を会員だけに留めるのではなく対象者の

「輪」を広げることも考えていた。ただ、私には、もう一歩、特別委員会」で、私が体験してきた戦前の福岡大空襲や学徒動員から戦後の経営と同友会をめぐるともやま体験を報告させていただきます。集まられたみなさんから、久しぶりの交流と懇親の場をつづけて欲しいとの要望をいただきましたので、その対応も検討してください。

と、ここで、11月19・20日の県の広報・情報化交流会が、「今こそチャンス！広く深く同友会を伝えよう！」のテーマで愛知同友会の副代表理事で中協の広報委員長・加藤昌之氏を講師にむかえ、愛知における広報・情報・報道の戦略的な組織増強に対する緻密な仕組みづくりなど参考例が多く「個々の単発的な同友会の活動を」壮大な仲間を増やし、地域を変え、国を変える。中小企業運動の推進こそ、個々の企業の存続につながる貴重な話に感銘を受けました。学びのチャンスなのに集まりが少ないのはなぜとい

う気持ちが残りましたが、会員は、お客様ではない（田浦）いま、福岡同友会は全国の会勢の足をひっぱっています。九州では福岡、大分が減らしていますが、他の県は増やしています。愛知の加藤さんは、今後黙っていても5,000名は到達するだろうと発言があり、さらに「会員はお客様ではない」という言葉が印象的でした。会員は会の行事などを体験していただき学びながら成長をします。

深く考えるとそちらの方が正しい。今後、会員の皆さんに伝えていこうと思います

今年5月に中野正志地区会長と笠置重子さんの3人で愛知の増強委員会に参加しました。愛知では、役員の役割として会員増強は当たり前という組織風土が出来上がっていましたね。加藤さんの報告によると、増強は役員でないと出来ないのではとのことでした。小規模の支部づくり、役員を増やすことで分母を大きくしているのが特長的でした。

今回の広報情報化の勉強会に参加して、あらためて広報の役割の重要性を再認識させられました。現在、戦略的には県の経営革新に取り組んでいる企業や子育て宣言をされている企業をリストアップし、その企業を対象にダイレクトメールを送り、パンフレットを持って訪問する計画をしています。

私が入会した1970年代初頭の「春の統一地方選挙」で、例の「春の嵐」事件が起こりましたが、その教訓のポイントは、

当時、県・市・町村にいたるまで、中小企業家として事業主体に責任を持つ経営者でなく、議員で社外役員を兼務する人も理事メンバーにいて、個人の「後援会」組織で議論すべきテーマを、予告も相談もなく、「同友会」の名を勝手に使用する会員もいて、貴重な体験をさせられました。当時、北九州で副支部長（支部長代行）をしていた時代で、58名の会員が13名

に減る風評被害などもあり、その後、北九州全体で350名突破するまで15年かかりました。現在では解決済みの問題で、その教訓を生かして1979年の常任理事会で「選挙に際しての心得」を正式に決定しました。会員増強について、かつて香川同友会の三宅代表理事は、幹部の決心と団結が大切なことを強調されましたが、私は、香川が中小企業家の組織率で全国一の会勢になった当時、三宅さんと同行し、高松市街の出版社と書店関係を訪問させていた

だき、分野別への拡大戦略と、その行動は大いに勉強になりました。

（田浦）三宅さんの役員の決心が大事という話には共感します。いま、福岡では福友支部が会勢を伸ばしています。フォーラムの参加が今ひとつ伸び悩んでいるときに、福友支部の役員会に参加させていただき、そこで声掛けをお願いしました。直ちに150名のリストが上りました。やはり、リーダーの覚悟の度合いだと思います。

福岡の50周年には、3,000名体制で迎えるためには、残り28ヶ月になります。福岡の立ち位置が判るようになりますね。最近では、筑豊で、臨時増強委員会をひらき、筑豊地区の幹事会で増強会議で意思統一をはかっています。筑豊支部では、フォーラムの参加リストより対象者の一斉訪問活動を行い、入会者もありました。

（諸岡）みなさん、一緒に訪問されるのは効果がありますね。とくに若い人たちは即座に反応・触発され、知り合いの方が入会されるようです。

拡大するところに人は寄ってきます。愛知は、例会出席率は80%ときました。若い人たちは、すべて90%を超える出席者です。福岡との違いを痛いほど感じます。いま福岡の理事は34名です。時には拡大理事会や、あらゆる方法でのコンセンサスで、会全体の総意を結集して強力なリーダー力を発揮してください。貴重な時間ありがとうございます。

93

岩手同友会復興支援増強活動から学んだこと

理念を追求し、理念を以て、仲間を増やす

福岡県中小企業家同友会 事務局長 井上 拓郎

10月から2週間、岩手同友会への復興支援に行つて参りました。岩手同友会では

「11/11の創立20周年記念式典を600名の会員で迎えよう！」と増強に取り組んでいる最中であり、その増強活動の支援ということで全国各地から岩手同友会へ事務局員が派遣されています。

出立する前は中協から流れてくるニュースなどで「同友会の支部があるところと無いところでは復興のスピードの差が出ている。やはり会員増強を進めなければならぬ」というのを目にして、「そんなことあるのだろうか。同友会発信のニュースだから増強に結び付けようとしているのだろう」と事務局員ながら

穿った見方をしていました。が、実際現地に行き、生の

支部があるということ、そこに同友会の会員企業があるということ。



左より 福岡同友会 井上事務局長、岩手同友会 晴山会員、
広島同友会 青芝会員、岩手同友会 吉田会員

情報や現場を見聞きすると、それが事実であることが分かります。

ぐに立ち上がり、他の企業や住民をも一緒に巻き込んで

引つ張っていくリーダーとなるのです。復興のスピードの差は、そういった会員企業があるか無いかの差がそのまま出ていたというわけです。そうやって同友会理念や運動への確信ができたものから増強活動にも岩手同友会の会員の方と共に熱が入りました。盛岡では初となる商店街への飛び込み声かけ訪問も行いました。驚くべきことに門前払いはい店もありませんでした。それどころか「最近お店や商店街はどうですか?」と話しかけるとポロポロと実情を話してくれます。お年を召した方たちが多く、「もう今ある在庫を売り切ったらお店を閉めようと思っている」「後継者はいない。お店も商店街も未来が無いのが分かっているから継がせたいと思わない」…。被災とは違う危機がそこにはありました。「じゃあ私たちと一緒に考えましょう!そのための同友会

なんです!」思わず熱く言葉を発しました。現場の生の声を聞いて、同友会は何のためにあるのか。何のために経営しているのか。地域をどうしなければならぬのか。現場に飛び込んで、訪問を通してやるべきことが明確になりました。日々にいかに理念に沿った企業づくりができるか。同友会として「三位一体の企業づくり(共同求人・社員共育・経営指針)」の活動を追求できるか。また、それを会員や他の経営者に熱を以て呼びかけ続けられるか、そして会の理念に賛同してくれて共に学ぶ仲間を増やすことができるかです。それを実現すべく今後、日々の活動に臨みたいと思います。「会員増強は最大の社会貢献」といいます。これは決して同友会のためだけの言葉ではありませんでした。

企画から参加できたら楽しい 付加価値を高めるために

事業継承を機に経営指針書を作成し、実践しているうちに先代がこだわり続けたことが見えてきたと言います。

会社創業

「昭和33年父が創業しましたから、かれこれ50年以上になりますね。工芸社と名前についているので、以前は看板屋さんですかとよく聞かれました」と話し始めたのは、有限会社みなと工芸社の松田青起さんです。まず、大牟田市内で知人

の印刷工場の一角を借りて創業しました。「ガリ版印刷から始めたと聞いています。下駄に一つ一つガリ版で印刷していたそうです」。主に日田方面で営業展開していましたが、ある業者に「ウチに入ってやってみなね」と誘われましたが「売上は見込めるかも知れないが、それで



は下請けになってしまおう」との先代の強い信念から断ったそうです。その帰路、汽車の中で向かいに座った人が当時珍しい透明の袋を持っていたのが目に留まりました。「これって何だろう」。まさに『みなと工芸社』の原点と言える出来事でした。

有限会社 みなと工芸社

代表取締役

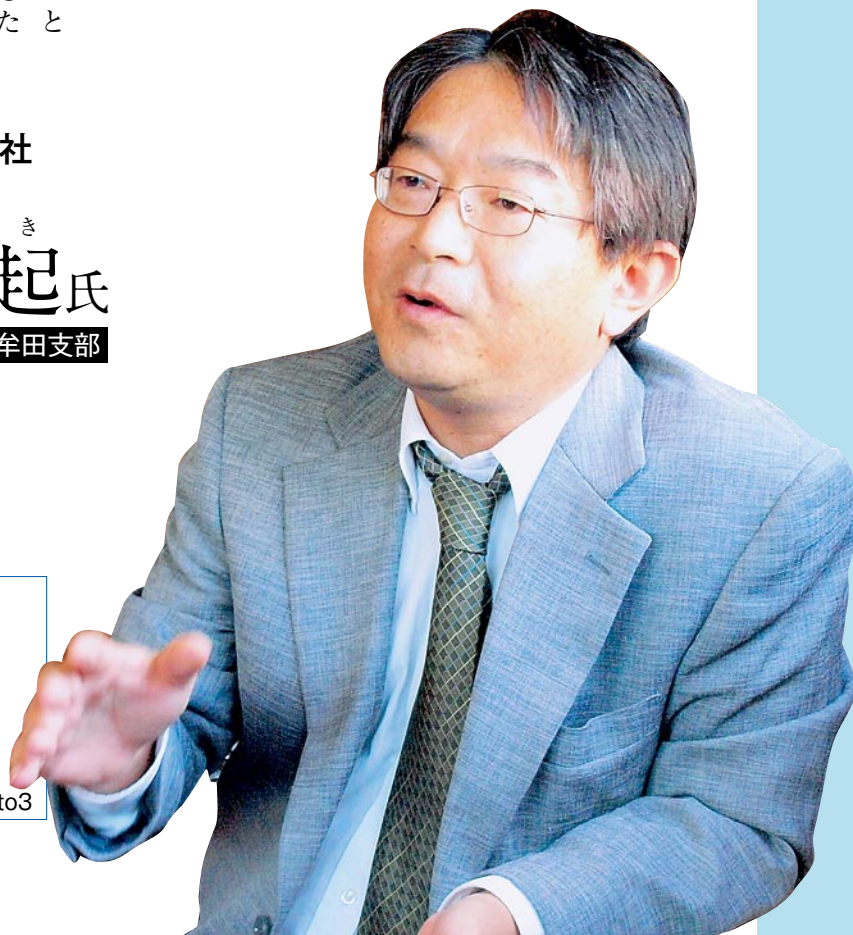
まつだ せい き
松田 青起氏

大牟田支部

取材 広報情報室
文章 菅原 弘
写真 真 船木 治

▼ corporate data

有限会社 みなと工芸社
創業/1958年1月
資本金/600万円
年商/4億8000万円
住所/大牟田市大字草木181
TEL 0944-56-3710
従業員数/35名
<http://www7.ocn.ne.jp/~minato3>





ポリ袋との出会い

50年前、袋といえば紙がほとんどでした。先代の見たその透明の袋は、いわゆるポリ袋で『積水』という会社が取り扱っていることがわかりました。先代は個人業者であり

ながら何と積水に飛び込んで直談判し取引に漕ぎ着けたそうです。透明のフィルムを自社工場に持ち帰り版で印刷を施してみたところ、一晩明けるとパラパラと剥がれ落ちたそうです。「何かが違う」と思った先代は全国を回り始

めました。ようやく名古屋でそれらしい機械を見つけた意気揚々と帰ってきたそうです。「当時九州では2・3社しか持っていない機械でした。そういう意味では老舗と言えるでしょうね」。以来、フィルムを仕入れて企画・印刷・製袋加工・販売する形態を

とっています。

差別化を図る

一口にポリ袋といってもたくさんの種類があります。求められる機能も透明性・耐水性・ガスバリア性など様々です。「機能によって、素材を

どう組み合わせるかがポイントですね。まず手掛けたのはパンの包装材料でした。次に麺類というように食品業界で実績と信頼を築いていきます。時間が経つにつれてポリ袋は一般に浸透し、大手の参入もあり価格が下がってきました。次に狙ったのは当時九州に数多く存在した製紙工場が作るトレットペーパーの包装材料でした。これは堅調に実績を上げていきましたが、スーパリーなどでは目玉商品になるなど利益が確保できません。そこで同社が次に進出したのが漁業の分野です。パーチといわれる資材です。水揚げされた魚に氷をのせますが

フィルムシートを間に敷くことで、魚の『凍りやけ』を防ぐことができます。一般には目に触れることは少ない商品ですが漁業では必需品です。昭和53年頃から取引開始し九州一円で売上を上げるようになります。『パーチといえは、ウチがシェアNo.1です』と松田さんは話します。

後継者として入社

松田さん自身は、仕入先の大阪の会社で4年ほど修行して、後継者として同社に入社しました。「戻ってきた頃は大阪と大牟田の時間の流れの違いに戸惑いましたね」と笑顔で語ります。現在のお客様は付き合いの長い方が多く、商品開発に関しても話しているうちにお客様の考えているイメージがわかり、松田さんがデザインまですることも少なくありません。

同友会に入会

同友会への入会は実家に戻ってまもなくの頃でした。「ウチの前の通りは『同友会通り』なんですよ(笑)」。ズラッと同友会会員企業が並んでいます。ある日4名の会員が訪ねてきて「この通りで同友会に入っていないのはあんたんとこだけばい」と勧誘されました。初めは先代を会させようとしたらしいのですが「息子に聞いてくれ」の一言で即入会。「28才のときですから18年前のことです。初めは何が何だかわかりませんでした」と言いながらも、同友会で経営者としても学びを深めていきました。そして、松田さんは6年前に二代目社長に就任しました。スムーズに継承できたと言います。「オヤジも70を超えていますし、オヤジと一緒に仕事した人たちもうまく交代していただきました」。

社長になったのを機に、大



絵に描いた餅です」と謙虚に語っています。現在、支部長を務め会員に指針書作成を呼びかけています。

今後の課題

市場が厳しさを増す中で、松田さんは新規開拓の重要性を痛感しています。「新規のお客様、新規の商品を開拓しなければなりません」。

牟田支部での学びを基に『経営指針書』を作成しました。経営理念は『包装によってお客様の商品を高めてお客様とともに成長します』とし、また「オヤジがやっていたことを振り返って考えるところなるのかなって思いました」。そして、指針書の実践で日々『気づき』があり、「まだまだ

開拓しなければなりません」。今までは「当日訪問が出来る」という理由で営業エリアを九州一円にしていました。物流が発達した現在、これはクリアできる要素だと考えるようになり、昨年、東北からの引き合いがありました。品質・価格は通用しました。あとは物流ですね」。

また、商品開発についても、「営業には簡単に『ノーと言ふな』と指示しています。お客様の要望に極力応える努力するようにしています。企画・販売だけではなく、実際に機械を備え製造していることが同社の強みです。パンフレットでは商品例とともに工場内の設備や稼働している様子を紹介しています。「商品開発への努力が差別化への第一歩です。一回クリアすると次に繋がりますね」。前述の通り「パーチといえどもなど工芸社」と市場に浸透しており、パーチでの技術を応用してフィルムにミシン目を入れる商品を提供しています。「これで手で簡単に切り取れるようになりました」。

また、最近ではホームページからの問い合わせも増えてきているそうです。お客様のニーズに合わせて、ロット数の対応などさまざまなテーマが見えてきました。製品が生まれればパッケージ

ジは付いて回ります。「その中で企画から参加できたら楽しいですね。大手からの仕事は『この通りやれ』と言われる終わりです。商品開発から携われば工夫もできますし付加価値が上げられます」。

自立型企業とは

取材の最後に松田さんの考える自立型企業についてお伺いしました。「自社でやりたいことができる会社ではないでしょうか。商品開発や価格決定など。自社の名前で納品書を切って品物を納めることもそうですね」。下請けの仕事では親会社・販売代理店などの名前で伝票が動くことを指しています。

「以前、設備が遊んでいるからと『印刷だけ』『製袋だけ』というように部分的に稼働させて工賃稼ぎをしたことがありました。しかし、口スガ大きくリスクだらけでした。改めてウチは企画・印刷・

製造加工・販売を一貫してやる会社だということを実感しました。下請けの仕事は一切やっていません。永年オヤジがこだわってやってきたことがわかりました」と松田さんは語ってくれました。取材協力ありがとうございました。



今こそチャンス! 広く深く同友会を伝えよう!

■今回の開催目的は・・・

広報情報化活動を組織強化の面から考え、会勢を始めとした大きな成果につなげている、愛知同友会の広報情報化活動（広報・報道・情報）への貴重な取り組み体験に学び、活動の意義・目的と重要性を再確認し、参加者それぞれの広報情報化推進活動に生かしていきましょう。



2011年11月19日(土)13時～
20日(日)12時

クローバープラザ

■1日目報告者

加藤 昌之氏 (株)加藤設計 代表取締役
(愛知同友会 副代表理事、中同協 広報委員長)

■2日目報告者

齋藤 純氏(株)インフィニティ 代表取締役
(福岡同友会 情報化推進部長)

印口 悟氏(株)オープンウェア 取締役社長
(福岡同友会 県公式Webサイト管理者)



広報・情報化交流会に参加して

西村 良哉 (筑紫支部)

平成23年11月19、20日と広報・情報化交流会に参加しました。今期から広報・情報化に携わるようになった私にとって、まだまだ未知の部分が多く、見るもの、聞くものの多くが初めてというものでありでした。

なかでもやはり愛知同友会の副代表理事、加藤昌之氏が話された愛知同友会の取り組み

みにはとても感銘を受けました。まず第一には、会員向けグループウェア「あいどる」導入にいたる経緯についてです。当時2千数百名だった会員を3千名にしようと考えたときに、当時のファックスや電話案内に頼った方法ではとても追いつかない。それなら少ない人数できちんと隔々まで情報をいき渡らせることができるツールをつくらう、それが理由だったそうです。それから独自に開発と改良を繰り返し、会員がより使いやすいものに進化させてこられました。パソコンの無いところには個別に訪問して据付けを手伝うことからされたという苦労話には並々ならぬものを感じました。第二に、小集団化の取り組みです。支部を多くても50人程度に細分化し、役員として支部活動に携わる人を増やした上で、きちんと役員研修を行い、同友会理念を理解した人を増やす。同友

会に入ったからには会員をお客様扱いせず、何らかの役割を持たせる。なかなか大変なことだと思いましたが、海千山千の経営者の集まりなのであるから、与えられたことに対してはきちんと結果を出せる能力があると聞いたときには、なるほどなと思いました。第三に青年同友会の活動についてです。20代、30代の若い会員が特に増強活動に積極的に取り組み、全体の会員増加に大きく寄与していること。見習うべき点が多いと感じました。最後に広報とは「社会関係づくり」であるとのこと。単に情報を発信するだけではなく、どうしたら社会のなかで自社の存在理由を確立していくか、それを考えながら活動していかなくてはならないと教えられました。

今回の学びを支部活動並びに自社の活動にも活かしていきたいにますます励んでいきたいと思いました。

経営環境変化に関する 緊急アンケート

福岡同友会政策金融委員会では11月13日～30日の期間、「経営環境変化に関する緊急アンケート」を行いました。本年度は前年より続く円高に始まり、国内外の災害の影響や、増税やTPP参加是非などの議論が行われる中、経済的にも大きな変化が予想されます。

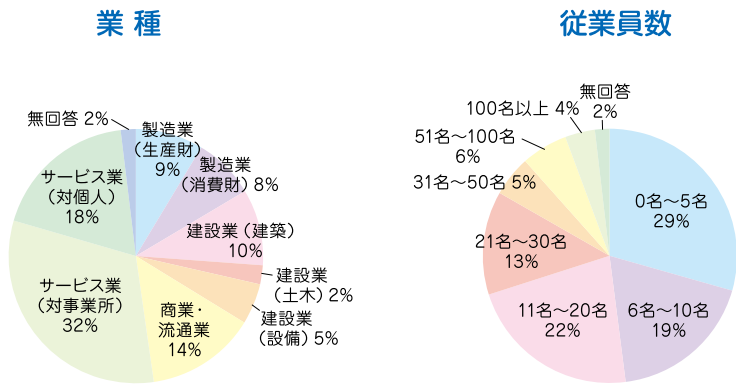
委員会では集計結果をもとに、その対応と、関係機関への要望等とりまとめを行い、12月2日に記者発表致しました。今回「月刊同友」では、取り急ぎアンケート集計結果とその傾向について会員皆さまへお知らせいたします。

- 調査要領**
- 調査時 / 2011年11月13日～2011年11月30日
 - 対象企業 / 福岡県中小企業家同友会 全会員企業
 - 調査の方法 / メールおよびFAXの方法による自計記入
 - 回答企業数 / 371社の回答 (回答率…19.1%)

「影響が出てくる」と回答。主な影響としては「価格の高騰・価格競争」「雇用減少」「為替損失」「景気の鈍りと物流の悪化」

円高の影響について

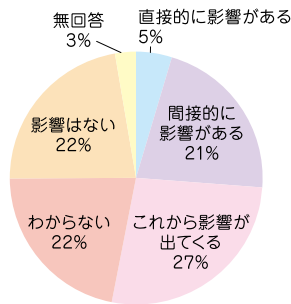
全体の53%が「影響がある」



エネルギー・電力問題での原発の今後について、全体の26%が「再稼働、安全面を考慮しつつ推進」の回答。71%は「廃棄、稼働しつつも自然エネルギーへの切り替えを急ぐ」の回答。具体的意見の中には「エネルギー

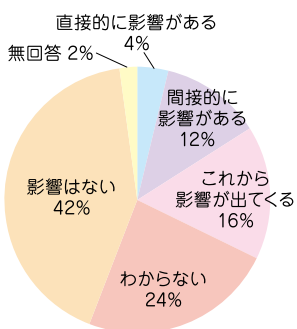
原発について

経営における影響 (急激な円高による影響)



「設備投資の減少」「海外移転」などあった。また、「円高のメリットが感じられない」などの声もあった。

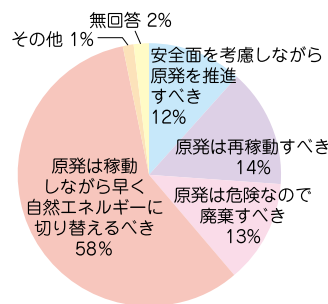
タイの洪水の影響



全体の42%は「影響なし」との回答があったが、32%は「直接・間接的影響がある」との回答から影響がある」との回答。

タイの洪水について

原発について

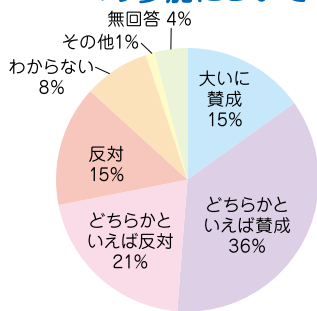


ギー・電力事業の体制やシステムの見直し」を求める声が多くあった。

「復興増税」に関しては全体の46%が「賛成」側の回答。

増税に関する

TPP (環太平洋経済連携協定) への参加について

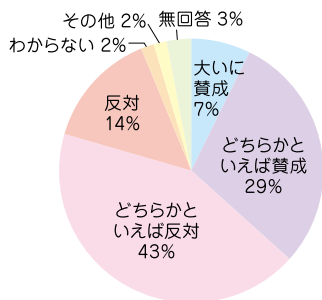


全体の51%が「賛成」側の回答。36%が「反対」側の回答。具体的な意見の中では「グローバル社会への対応」「世界競争」を意識する賛成側の声があった。

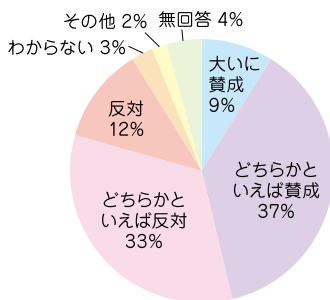
反対側の意見の中には「農業や食生活以外にも多方面に影響がある」との声があった。

TPPに関する

消費税率アップ (増税に関して)



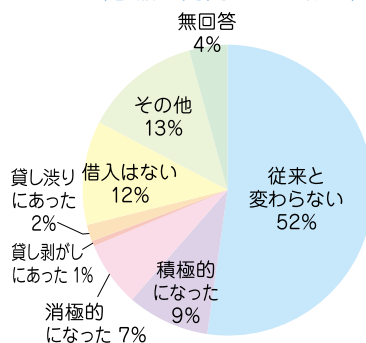
復興増税 (増税に関して)



45%が「反対」側の回答。「消費税率アップ」に関しては全体の36%が「賛成」側の回答。57%が「反対」側の回答。

増税し、「復興」「回復」を願う意見の中、「増税の前に見直すべきこともある」との声もあった。

取引金融機関の貸出状況 (急激な円高による影響)



以上のアンケート結果をもとに、マスコミ発表を行いました。

2011年12月2日(金)
12:15~13:00

会場 / 福岡県庁県政記者クラブ

【記者クラブ】
NHK 福岡放送局
日本経済新聞社
朝日新聞社
毎日新聞社
読売新聞西部本社
西日本新聞社

【同友会側】

中村代表理事
村山副代表理事
石蔵理事 (政策金融室長)
川畑事務局長
谷村事務局次長



記者発表の様子

13金 18:30~20:00

**経営労働委員会
1月勉強会**

いかに残業時間を減らし、休暇を増やしていくか

■天神パークビル

福岡市中央区大名2丁目8-18 ☎092-721-5530

■中川 照将氏 株式会社アフエットプラスワン 代表取締役 (北九州支部)

ビル総合管理業という不規則な労働時間勤務を強いられる業界において、(株)アフエットプラスワンでも残業の増加、休暇未取得が悩み。この問題を解消するため、全社一丸となって取り組んでいます。今回はその現状について報告します。グループ討論を通じて悩みを共有し、各社の課題を本音で語り合うことで、学びを深め、自社に持ち帰り、全社一丸の企業づくりにむけて取り組んでいきましょう。また、勉強会の中では、経営に関わる法改正の最新情報紹介や、社労士からの事例報告を聞く時間もあります。このように、より実務的な学びや相談の機会が得られることもこの勉強会の魅力の一つとなっております。勉強会に参加し、よりよい自社の職場環境作りを生かしていきましょう。

14日 9:30~18:00

経営指針作成「あすなる塾」(福岡会場)

■中小企業振興センター501会議室

福岡市博多区吉塚本町9-15 ☎092-622-6230

「あすなる塾」は同友会における経営指針の基礎知識を学習する1日セミナーです。

17火 18:30~21:00

**久留米・りょうちく
1月合同例会**

経営者としての自分史を語る

■サンハピネス

久留米市諏訪野町2704-2 ☎0942-39-5321

■田中利明氏・幸林真一氏・荻野朱実氏・富安慶輔氏

企業の経営者もしくは後継者として、我々は何をしなければいけないのか?を啓発的なものではなく、実務としてその例を討議することからそれぞれ各社の抱える今後の課題や想定される案件に対しての備え、また目標や方向性の参考にできるものとして企画しました。

20金 18:30~20:30

**有明支部
1月例会**

■ランヴィエール勝島

柳川市南長柄町22 ☎0944-73-9181

21日 10:00~ **22日** 12:00

**役員研修室
第17期役員研修大学**

ひろく、ふかく、実践的に、同友会理念を学ぶ

■サンピア福岡

福岡市西福岡4-4-1 ☎0940-42-2105

大学という名前がついているので堅苦しく聞こえますが・・・実はなごやか。また、将来の同友会の役職を約束するものでもありません。2日間にわたり、福岡でトップクラスの同友会理念の実践者を囲んで他支部の役員、役員経験者と交流し、自分自身や会社を振り返ることで、いままでとは違ういろんなことが見えてきます。今回は第1講座(報告者:広浜幹事長)をオープン講座(10:00-14:00 昼食含む)とし、誰でも参加できます。

23日 18:30~19:30

**国際交流委員会
勉強会**

中小企業の上海進出成功事例報告!

■NBS(株) 会議室

福岡市博多区奈良屋町5-10 ☎092-263-8833

■松原照明氏 シーエススクール(株) 代表取締役 (かすや支部)

24日 18:30~21:00

**企業連携推進委員会
FAST1月例会**

「産学官金連携で新たな発想!

住宅資産価値向上を実現する「まちづくり」

~中小企業だからこそできる! 安心・安全な暮らし創造~

■福岡県中小企業振興センター 4階 403号

■松尾 憲親氏 株式会社大建 代表取締役 (東支部)

世界有数の経済大国でありながら、生活の豊かさを感じにくい日本。その主因は、生活するうえで欠かせない「衣食住」の「住」が満たされていないからだと考え、現状を打破すべく(株)大建の松尾さんは取り組みを開始しました。

経営革新を2回取得する中で、公共事業から住宅産業への進出を決め、九州大学との産学連携により雨水利用システムを共同開発。駐車場の屋根は太陽光発電を取り入れ、共有スペースの充実により居住者間のコミュニティを充実させ、植栽や建物外観は周りの住宅地とも調和するなど、細かいところまで配慮されています。

欧米のように、住宅を持つことは資産形成できるということを実現し、後世に住み続けられていくサステナブルコミュニティ(持続性のある住宅地)を日本で作りたいという強い思いで取り組んでおられます。今回の報告から学ぶことは、たくさんあります。

26木 18:30~21:00

**新会員フォローアップ
セミナー**

■同友会会議室

福岡市博多区吉塚本町9-15

新会員向けの同友会活動をわかりやすく説明する導入セミナーです。

2月

5日 10:50~ **7日** 20:45

**国際交流委員会
香港・深セン訪問ツアー**

市場としての中国の重大さと言うまでもありませんが、いままでの国際交流委員会の取り組みで中国は参入の難しさからもっと別の方法も考える必要があると認識しています。さて、香港は中国に返還されて一国二制度ということで、中国大陸への入り口として注目を集めています。中国ビジネスに香港を組み込むことで難しい対中国ビジネスをやりにやすくする、と言われていています。今回、この香港で実際に活躍されている日本企業と企業家団体にその実際を確認してみようと考え、この訪問を企画しました。さらに香港と隣接する大陸側の深センはその地理的位置からも中国への入り口として活用可能と言われています。国際交流委員会で9月に実施した香港の勉強会でも深センの価値を知りました。これらの点について、ぜひ現地に行って体験して、体で感じる事が一番大事と考えています。

■料金:111,000円程度

■申込締切:2012年1月14日(土)

17金 9:30~ **19日** 16:00

**経営指針作成
セミナー(第6期)**

■サンピア福岡

福岡市西福岡4-4-1 ☎0940-42-2105

「あすなる塾」での学びをさらに深め、あらたに経営方針・経営計画を加え、2泊3日で経営指針書を実際に作成します。

DOYU BOOKS

21世紀型企業づくりへの挑戦

企業変革支援プログラムステップ1(入門編)



このプログラムは、同友会の「3つの目的」や「中小企業における労使関係の見解」「21世紀型中小企業づくり」のエッセンスを抜き出し、それらを企業変革のために必要な重要要素として整理分類し、自社の成長発展を図る物差しとして使えるよう、まとめ上げたものです。

内容は、経営者の自己診断のみならず、経営幹部や社員とともに自社分析をし、互いに認識の違いを理解し合う、「全社一丸の経営」に導く内容となっています。

仕様/A4判 65ページ

頒価/1,000円

発行/中小企業家同友会
全国協議会

お求めは同友会事務局まで

2012年



新春講演会

18 水 18:00-21:30

筑豊地区
新年祝賀会

幸せを実感できる社会をめざして
～今こそ企業づくり、同友会づくり、地域づくり～

■のがみプレジデントホテル

飯塚市新立岩 12-37 ☎ 0948-22-3840

■堂上 勝己氏 梅南鋼材株式会社

代表取締役 (大阪同友会 代表理事)



28歳の時に突然兄が亡くなり、急に社長を継ぐことに。商売の「し」の字も分からない中で苦い経験をしている時に同友会へ入会しました。以来同友会で学んだことを実践し、2010年度は売上が前年対比30%減と厳しい中にありましたが、生き残っている強靱な企業づくりに取り組んでいます。

いま我々中小企業を取り巻く経営環境や社会環境が大変厳しい中にあり、人々が希望をもって生きられる世の中を実現することが、我々の使命になってきました。いまこそ中小企業家魂を奮い立たせて同友会が社会改善活動に取り組む時期なのではないでしょうか？共同求人・社員共育・経営指針の三位一体の企業づくりや大阪の事業所数の減少を食い止める運動を通して伝えたいと思います！

■第一部/記念講演会 18:10～19:40

■第二部/賀詞交歓会 20:00～21:30

■会費:第二部/賀詞交換会:5,000円

(第一部:記念講演会のみ参加の方は無料です)

く求めれば、ラクな仕事ではない。大変なことも多い。しかしやりがいに満ちている。『社長の仕事』は経営を通して社会の役に立ち、関わる人や社会によりよい影響を与えられる素晴らしい仕事。私も一緒にがんばりたい。あの日の父を目ざしてこの機会にひろく中小企業経営者の皆さんと共に学びあいたいと思います。

27 金 18:00-19:50

北九州地区
新年祝賀会

激動の時代を乗り越える企業づくり
～社員の成長が、会社発展のカギ～

■リーガロイヤルホテル小倉

北九州市小倉北区浅野 2-14-2 ☎ 093-531-1121

■加藤 明彦氏

エイベックス株式会社 代表取締役会長
(愛知同友会 代表理事)



■記念講演会報告のポイント

[時代認識] 自動車を取りまく環境

[経営者の責任] 雇用を守る覚悟

[会社は必ずつぶれる] 市場創造

[克ち進む経営] 自社の強み・弱みを徹底的に分析 (SWOT 分析の充実・時代の変化に対応した戦略)

[現在の社員は、必ず居なくなる] 人材育成

[雇用の継続性=人は資産] 技術継承 技術戦略を通じての「人づくり」 加工屋ではなく鍛冶屋の世界を築く 鍛冶屋とは自前で技能・技術の構築をする

[経営指針の浸透] ベクトル合わせ なぜ、エイベックスで働くのか 働きやすくするためにはどうしたら良いのか

[雇用を守る意味] 人間尊重の経営 会社の発展は社員の成長とイコール「豊かな人生」が送れる風土づくり プラス思考で「学び・実践」して、前進しよう！

■第一部/講演会 18:00～19:50

4階 ロイヤルホール

■第二部/賀詞交換会 20:00～21:30

3階 オーキット

■会費/第二部:賀詞交換会:6,000円

(第一部:記念講演会のみ参加の方は無料です)

19 木 18:30-20:45

福岡地区
新春講演会

経営は『関わるすべての人を
幸せにする仕組み』

■都久志会館大ホール

福岡市中央区天神 4-8-10

☎ 092-741-3335

■浜口 隆則氏

株式会社ビジネスバンク 代表取締役



子供の頃、父のようになりたかった。社長である父はカッコよく、私にとって、ヒーローであった。「嘘はつくな。人に迷惑をかけるな。それさえ守っていれば、人生は自由なんだから、何をやっても良い。でも社長が一番、やりがいがあるぞ」教師の道を歩みかけていた私が、導かれたように経営者になったのは、そう言われて育ったからだと思う。社長としての実力を高

新商品ご紹介

ばつてら辛子明太子

寿司屋発：明太子と白板昆布の出会い

有限会社 糸島海産

代表取締役 宗そう 悦三えつぞう

西支部



糸島海産の明太子には、糸島屋秘伝のからし調味タレがたっぷり付いてきます。このタレが美味しいと評判で、キムチを作る、スパゲッティをあえる等お料理に使われています。

そのおいしい秘伝のタレに、無着色極上タラコを北海道産白板昆布で巻き上げてじっくりと漬けて込んでできたのが「ばつてら辛子明太子」です。舌触りのいいなめらかな食感に仕上げました。ご贈答用にはワンランク上の明太子が最適です。

「長年の海産物問屋に勤務した経験をもとに創業したので、原材料の海産物にはトコトンこだわり、また明太子市場では後発なので、味と価格の両方で勝負しないと売れないと覚悟を決めての商売です。」と宗さん。

辛子明太子のほかには：

◆ 幼児から大人までOKの無添加のじゃこ煮・山椒ちりめん

(岩田屋でも販売)

◆ いりこ、ちりめん

(ハローデイでも販売)

◆ 昆布

◆ 焼きアゴ 等々

「Itoshimayaから愛」をモットーに、美味しさの源である海の幸をお届けします。



焼きアゴ

■取材・撮影：広報情報室 池田宏子

■写真提供：有限会社 糸島海産

有限会社 糸島海産

〒819-1102

前原市大字高田 5-27-14

(唐津街道オートバックス向い)

Tel 092-321-3610

Fax 092-321-3600



北海道の白板昆布で巻いた「ばつてら辛子明太子」



ちりめんとじゃこ煮

2011年度 第8回理事会報告

■日時：2011年12月14日(水) 15:00～18:00
■出席：23名(欠席委任11名) 出席率：67.6%

■会場：福岡県中小企業家同友会会議室
■議長：村山副代表理事

□開会あいさつ(中村代表理事)

年度末まで残すところ3ヶ月、引き続き増強を理事会が先頭を立てて頑張っていきたいと思います。

■審議事項

1. 経営環境変化に関する緊急アンケート結果と特別決議(消費税引き上げ反対)(川畑事務局長・石蔵政策金融室長)

・資料に基づき報告。12月2日、県への政策提言とアンケート結果のマスコミ発表を行い、6社より報道、掲載されました。

・特別決議について資料に基づき「消費税率引き上げが閣議決定されようとしている。消費税率引き上げの前に、歳出削減を徹底的にやってもらうこと。この時期に同友会としてまず意思表示をしていくことが大事」との緊急提案がありました。

出された主な意見は3つ

- 国会議員定数の半減。現実可能なこととして、半減を(削減)に変えてほしい。
- 歳費削減は当然だが、国内の経済成長が止まっている。要望の三つ目として、(経済成長戦略を示すこと)を加えてほしい。

●アンケートでは37%の人が賛成している中で、断固反対と言っているのか。理事が納得させられるものをもつことが大事。

以上の意見をふまえて、特別決議案の中の一、国会議員定数を削減に変更、三として、経済成長戦略を示すことを追加することになりました。地区幹事会、支部役員会で協議し、次回理事会で意見を持ち寄り最終審議とします。

2. 規定改定関係(長井総務財政室長)

・第8章第26条「名誉会員の資格は一身専属とします」を再確認し、既に亡くなっている案納邦雄氏、山田虎生氏の資格が喪失されることの報告がありました。

・組織運営規定の第15章51条(旅費出張規定)の3)に、⑦として「りょうちく支部会員は2,500円」を追加することに承認されました。⑧については、再検討となっています。

・継続審議となっていました総会運営細則は、(総会付託事項)を第7条として追加し、第7条(改廃)を第8条と加筆訂正し、承認されました。

3. 除籍、退籍審議

今年度の申請はなし。

4. 50周年記念事業について(中村代表理事)

①企画委員会報告

7名の会員より記念事業提案書があげられました。記念事業のコンセプトを「過去・現在・未来」として今後事業を検討していく。現在承認されている行事を再確認しました。

・第43回中小企業問題全国研究会の設営⇒2013年2月

・記念式典(第51回定期総会)⇒2013年4月

・記念講演に鳥越俊太郎氏(内語)

・記念誌発行

・東日本復興支援キャンペーンソング「スマイル・アゲイン」のCD制作

②記念事業の予算原案の大枠を確認しました。

③東日本復興支援キャンペーンソング「スマイル・アゲイン」のCD複製と普及

今後のスケジュールの報告とお願いおよびCD推進実行委員会設置と追加予算の提案がありました。

【スケジュール】

・CD収録⇒2012年2月6日(月)、永永文化センター(さだ氏も同席し歌唱指導)

・合唱団構成は90名(同友会会員19名他、雙葉中学・高校合唱部をメインに被災地支援に行かれた自治体職員)各地、福岡県知事日程調整中、福岡市長出演決定、北九州市長出演調整中)

【合唱団への推薦のお願い】

・各支部より1名の合唱団への推薦を1月10日までにお願います。

【提案(1)】CD推進実行委員会設置について

・推進実行委員会体制を提起、承認されました。

・推進実行委員会の推薦依頼(福岡地区2名、他地区より1名)がありました。12月21日までに推薦をお願いします。

尚、第1回推進実行委員会は、12月26日(17:00～

18:30、同友会会議室)にて開催。

【提案(2)】追加予算申請について

・10月の理事会で200万円の記念事業費からの拠出は承認されました。11月理事会以降、さだまじ氏の収録参加決定、合唱曲へのアレンジ料、著作権料等の発生が新たに追加されたため、100万円の追加予算の申請がありました。「地区幹事会、支部役員会できちんと説明できるようにしてもらいたい」との要望があり、正副代表理事会名で文書を整理・発信することを確認し、承認されました。

5. 第9回理事会当日の組織強化の勉強会

(田浦代表理事)

第9回理事会当日に、愛知同友会の加藤副代表理事より、愛知同友会が増えている仕組みづくりの勉強会開催の提案があり、承認されました。

・日時/11月11日(水) 14:00～16:00(勉強会)県振興センターにて、終了後理事会

・参加対象/理事・支部長・地区幹事・支部三役・事務局員

■協議事項

1. 半期経費の検証(中山代表理事)

資料に基づき報告がありました。各地区幹事会に報告をお願いします。

2. 2012年度運動方針骨子の検討

資料に基づき運動方針の提案がありました。地区幹事会、支部役員会、ブロック会、県委員会にて討議をお願いします。1月の理事会に意見を寄せて頂き、1月下旬に方針案をまとめることを確認しました。同時に、全県支部長研修会の提案があり確認しました。

・日時/1月28日(土)運動方針案、予算案の考え方の確認

・参加対象/理事、各地区幹事、支部長(現・新)、事務局員

3. 会員増強の取り組み(田浦代表理事)

①11月会員数 1,992名(対前月比+8名)(入会20名、退会(除籍含む)12名*退会申し出者69名)。全国では富山92名、岩手69名、愛知55名増と、41,873名。

②第23回経営者フォーラムのゲスト入会状況は、75名中、現在入会6名、入会予定者2名、ぜひ地区幹事会、支部役員会でフォローして頂き、入会の促進をお願いします。

③増強の取り組み進捗状況

3,000名達成(2014年3月末)まであと27ヶ月。本部として増強に向けた取り組みを強化していくことを確認しました。

・活動の見える化⇒入会状況(週単位)表を作成し、事務局会議室に貼る。

・地区会、支部でも会勢のリアルタイム化をはかっていく。

・各支部で戦略本部への支援が必要な時はぜひ伝えてほしい。フォローします。

④各地区の動き(各地区会長)

(北九州地区)12月27日の地区幹事会までに、増強実行計画の提出をお願い中。

(筑豊地区)経営革新認定企業リストを活用、知り合い企業37社をリストアップ、ダイレクトメールを送り、12月から1月にかけて会員4名を一グループとし、対象者の企業訪問を開始。「目標は達成する覚悟」

(福岡地区)経営革新認定企業リストについては、地域性のあるかすや支部、筑紫支部が活用し、対象企業の絞り込み中。昨年同様「増強キャンペーン」を実施予定。増強計画と実行について三役、支部長と個別に話をしていく。

(県南地区)12月20日の幹事会で話をしていく。例会の充実も併せてやっていきたい。

4. 本部・室・委員会活動に関する課題検討

①第17期役員研修大学への参加促進について(船山役員研修室長)

・各地区、支部、委員会からの参加促進をお願いします。最低25名(福岡地区10名)

・広浜中同協幹事長が講師となる第1講はオープン講座とします。全支部より最低1名の参加をお願いします。

②大連チャレンジショップ 国際交流委員会(伊藤栄樹委員長)

チャレンジショップの実績報告があり、有望案件については、ぜひ会員にすすめて下さい。

③同友すばる特別委員会(白石委員長)

11月例会の報告および収支報告がありました。

④e-doyu再構築にかかる新システム概要説明会(中村中同協情報本部部長)

・この8月にリニューアルに伴い、再構築についての情報の共有をはかるため、新システム説明会を開催します。各支部の広報担当者の参加をお願いします。(九州沖縄ブロックより担当者参加)

・日時/2月24日(金) 14:00～16:00同友会会議室

5. 各地区会活動の報告と提起事項

①地区新春講演会

筑豊地区 2012年1月18日(水) 18:00～

のがみプレジデントホテル

テーマ「幸せを実感できる社会をめざして」

講師 堂上 勝己氏 梅南鋼材(株) 代表取締役

(大阪同友会代表理事)

福岡地区 2012年1月19日(木) 18:30～

都久志会館大ホール

テーマ「経営は関わるすべての人を

幸せにする仕組み」

講師 浜口隆則氏 (株)ビジネスバンク 代表取締役

北九州地区 2012年1月27日(金) 18:00～

リーガロイヤルホテル小倉

テーマ「激動の時代を乗り越える企業づくり」

講師 加藤 明彦氏 エイベックス(株)

代表取締役会長(愛知同友会代表理事)

②福岡地区「チャレンジフェスタ2012」後援名義依頼先等

・2012年3月13日(火) JR博多シティアミューズプラザ9F

・後援名義を官・学・金の16関係機関に提出、現在11機関より承諾がありました。

・同友会、委員会の活動をピーアールのため、同友会として10ブースの出店をお願いがありました。次回の正副代表理事会で検討することになりました。

③福岡地区会より、福岡市への初めての政策提言を12月12日行なったと中野地区会長より報告がありました。

■報告事項

1. 前回理事会以降の活動について

資料に基づき、1ヶ月間に延べ753名(ゲスト含む)が活動に参加。対外的には、県への政策提言、緊急アンケートのマスコミ発表、県信用保証協会との懇談会、福岡市への政策提言等を行いました。

*求人活動状況の件でテレビ西日本より取材依頼があり、12月17日(土) 10:15～

NEWS CUBEに、中山代表理事、求人共育委員会より時枝委員長、光本委員が出演。

2. 中同協九州沖縄ブロック関係報告

①全国行事

・第42回中小企業問題全国研究会の分科会報告(2012年3月8日～9日、於:福岡)

報告者/光本智恵子さん(株)すこやか工房)

座長/清家 政彦さん(セイワシステム(株))

・第15回女性経営者全国交流会の分科会報告(2012年6月21日～22日、於:沖縄)

報告者/権藤 光枝さん(南Branches)

座長/村山由香里さん(株)アヴァンティ)

②九州沖縄ブロック

・第6回支部長・支部活動研修交流会(2012年5月24日～25日、於:大分)

・佐賀同友会の会員増強のために佐賀県内の経営者の紹介依頼

3. 後援依頼

下記3団体より後援名義使用の依頼があり承諾したことの報告がありました。

①福岡県より「福岡ERIA国際フォーラム」

②福岡県中小企業振興センターより「中小企業経営革新セミナー2012」

③(株)ビジネスガイド社「第8回福岡国際ナショナルギフ トショー 2012」「第1回福岡ビューティー・ショー 2012」

4. 会員企業のうごき(事務局長)

①経営革新計画承認企業(1社)

□開会あいさつ(中山代表理事)

来年度の活動方針骨子を会員が共有できるように、各部署で十分な討議、検討をお願いします。



月刊

同友

546号 2012年1月1日(毎月1回・1日発行)

平成9年3月14日第3種郵便物認可
頒価/380円(年間4,500円)送料込(少)会員の購読料は会費に含まれます。

死ぬ程疲れてる方に贈る、ガチガチをトロトロへ!

足技スポーツマッサージ



すぽると

大濠店 ☎092-732-0234
福岡市中央区荒戸1-3-20-1F
営業時間 13:00~25:00

(株)タイムズスクエア
代表取締役社長
山田 雄二

平尾店 ☎092-523-6113
福岡市中央区平尾2-3-17-2F
営業時間 13:00~23:00

TSUNAYA GROUP

心に響くのは真心です。



- 博多和牛と韓料理ダイニング「ヌルボン kitchen」
- 黒和牛焼肉伝統料理「ヌルボン」
- 博多和牛一頭買いの店「ヌルボンガーデン」
- 韓国料理と焼肉「ヌルボンガーデン」
- レストラン「風の邸」
- 風の邸「焼きたてパン工房」
- だんらん居酒屋「はな」

株式会社 綱屋
福岡市博多区美野島2-5-2 TRUSTビル5F 〒812-0017
tel:092-433-1129 fax :092-433-1130 [村上 正明 hp:080-7039-2665]

「ヌルボン」検索
www.tsunaya.co.jp

AUTOMAX



株式会社 博多流通

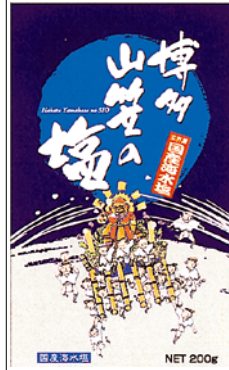
株式会社 オートマックス買取サービス

代表取締役

合野 良政

Yoshimasa Gouno

〒812-0862 福岡市博多区立花寺2-3-5
Phone 092-503-1300 F a x 092-503-2888
E-mail y.gouno@automax.jp



“ふるさとの感謝
おいしい福岡県の天然塩”

日本ミネラル株式会社

代表取締役

安武 航

〒810-0075

福岡市中央区港2-3-25 (博多港管理(株)ビル)
TEL092-720-2820 FAX092-720-2821
URL http://www.n-mineral.jp

有限会社 アツキ



やきとり安兵衛

佐田将暢

Sada Masanobu

【博多店】

福岡市博多区博多駅前3丁目10-2
TEL 092-292-6603
http://www.yakitori-yasube.com

Comipura Agent



代表取締役

時枝 憲司

Kenji Tokieda

株式会社 コミプラエージェント

〒815-0041 福岡市南区野間3-7-9-102
TEL 092-511-7766 FAX 092-985-6204
E-mail: cae33930@hyu.bbq.jp

Orijen はもっとも健康的なフードとして、
世界の全ペットフードの中から唯一
「ペットフード・オブ・ザ・イヤー」を
3年連続受賞しました。

ACANA



http://www.acana.net

Orijen・ACANA
日本総輸入元
有限会社アカナファミリージャパン
代表取締役 鹿田 孝博

〒811-1352
福岡県福岡市南区鶴田4-3-18
TEL092-567-7377
FAX092-567-7388

http://www.orijen.net



株式会社 協和設備工業

YOWA.co.

空調 消火 給排水衛生設備設計施工
篠栗町指定上下水道工事店

代表取締役 高倉 拓馬

〒811-2413 福岡県粕屋郡篠栗町尾仲494番1
E-mail : kyowa-setsubi@vesta.ocn.ne.jp
TEL(092)947-5895 FAX(092)947-5892



都地豊店

福岡県知事許可 第18558号
一級技能士

都地 隆 幸

〒810-0004 福岡市中央区渡辺通2丁目8-29

電話 092-731-1207
工場 092-871-1208
FAX 092-731-1208
E-mail:t-tsuji@miracle.ocn.ne.jp



月下美人

Santo-nole

月下美人

月下美人

月下美人

月下美人

月下美人

MLH GROUP

本社 〒812-0026 福岡市博多区上川端1-6 関ビル4F

TEL 092-263-6550
FAX 092-263-6604

福岡県中小企業家同友会 広報情報室 「月刊 同友」編集部

〒812-0046 福岡市博多区吉塚本町9番15号

福岡県中小企業振興センタービル11F TEL 092-686-1234 FAX 092-686-1230

http://www.fukuoka.doyu.jp/

福岡同友会

検索

環境を守るため再生紙を使用しています。

DOYU 16